二 議 第79号
令和6年9月30日

二宮町長 村田 邦子 様

二宮町議会議長 根岸 ゆき子

常任委員会の閉会中の継続調査に基づく提言書の提出について

標記の件について、教育福祉常任委員会における閉会中の継続調査に基づく「子どもの権利について」の提言書を提出いたします。よろしくお取り計らい下さいますようお願いいたします。

常任委員会の閉会中の継続調査に基づく提言書

調査事件

○教育福祉常任委員会

「子どもの権利について」

令和6年9月30日

教育福祉常任委員会

子どもの権利についての提言書

わたしたち教育福祉常任委員会は今般の国のこども基本法に始まる子どもの権利の基本理念を踏まえた政策転換は

- ① 命を守られ自分らしく生きること
- ② 子どもにとって最も良いことは何かを考える
- ③ 差別を受けない
- ④ 自分に関わることについて意見を述べ参加する

に基づいて行政が管理者の視点ではなく子どもたち一人一人の視点から最も良いと思える成育環境を整えていく大きな変革のチャンスととらえている。

2年間の調査研究を経て以下の事を提言する。

- ① 当事者である子ども（発達途上にある子ども、若者）が権利の主体であることをまずは知り、そして地域に子どもの権利の理念の学びが行き渡るよう各課横断的に啓発に努めること。
- ② 理念共有に有効な条例制定に早期に取り掛かるとともに、子どもたちの権利の視点を真ん中に、地域の子どもたちを応援する多様な町民団体と地域のセーフティネットを構築し、協働を進めること。
- ③ 子どもたちをパートナーにコミュニケーションが広がる町の人権文化として根付かせること。
- ④ 産前産後から学齢期までの超早期において、保護者、またお母さんが働く家庭のニーズを捉え包括的に支えるこども家庭センター事業の重点化と地域展開に努めること。

- ⑤ にのみや学園の児童生徒が自分にとって最も良いことを選択できるような環境を整え、自らに関わることについて意見を述べる子ども会議等のしくみを整備、さらに教師がそれを懐深く支えられるよう働き方改革と研修の質の向上に努めること。
- ⑥ 不登校児童生徒の生き生きとして尊厳ある社会参加と学びを保障するための環境整備、また広域で不登校特例校を二宮町に創る研究を進めること。